

本年になり、高橋寿郎氏に現物を見ていただいたところ、アカスジキンカメムシの幼虫はもっつくすんだ色をしており、こんな美しい色の幼虫はニシキンカメムシに違いないとお話であった。

そのため、改めて清水氏にお電話をして、この幼虫を採集された楠田さん（ご婦人）の電話番号を調べていただき、直接お話を伺った結果は次のようであった。

採集された場所は東灘区岡本3丁目（甲南大学の東）で、マンションの4階の部屋へ1990年9月ころの夕方、窓から入りこんで来たのをつかまえたとのことであった。それにしても、よく4階まで這いあがったものである。

このあたりは閑静な住宅地で、すぐ近くまで六甲の山波が押し寄せており、近くを走る阪急電車の車窓から見ると、樹木もよく生い茂っている。何れにしても、9～10月ころ一度調査する必要があるものと考ええる。

この標本は金緑色にかがやく美しい個体であるが、惜しいことに触角・肢などは郵送途上にはほとんど破損してしまっている。

なお、この標本は現在、高橋氏が保管されている。

## 宝塚市清荒神のチョウ（追録7）

加藤 信一郎

オオチャバネセセリは市街地には稀なチョウである。筆者は1982年6月、自宅裏で1♂を採集しているが（加藤、1982。きべりはむし10(2)）、その後の採品につき報告する。

オオチャバネセセリ *Polytremis pellucida* MURRAY

1♀、1-9-1988。自宅庭で採集。前翅長16mmと小型。前翅表後縁ならびに後翅表裏面の小白斑紋をほとんど欠く異常型である。

1♀、9-7-1991。自宅庭で採集。

なお、ナガサキアゲハは1981年5月当地で初見以来（加藤、1981。きべりはむし9(2)、年々その数を増した後減少に転じ、ここ数年は全く見なくなった。もっとも拙宅から東南500mの小浜の松原氏宅ではこの3/4年引続き春夏を通して、庭内のナツミカンに飛来し、産卵・羽化を繰り返しているのが確認されている（朝日新聞、18-5-1990）。